

沼津市愛鷹山麓不法投棄事案：周辺環境のモニタリング結果について

(静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課)

1 概要

- (1) 沼津市愛鷹山麓の(有)スルガ産業による不法投棄事案について、県は平成 24～25 年度にかけて、行政代執行による崩落の危険性の除去工事等を行いました。
- (2) 県では、行政代執行後の不法投棄現場が、周辺環境に与える影響を把握するためモニタリングを実施しています。
- (3) 平成 25 年度から、①不法投棄現場内の有害ガス等の発生状況②不法投棄現場内の水質③隣接する大沢川の水質について、モニタリングを実施しています。
- (4) モニタリング結果については、有識者にその評価を依頼しており、モニタリング開始以降、生活環境に影響を与える支障は確認されていません。
- (5) 平成 28 年度以降も、引き続き有識者と協議しながら、モニタリングを実施していきます。

2 検査結果

(1) 不法投棄現場内の有害ガスの発生状況

- ①不法投棄現場内の一部において、廃棄物の分解に伴う可燃性ガスが発生しています。しかし、直ちに火災が発生するような濃度ではありません。
- ②人体に有害な一酸化炭素や硫化水素の発生は認められていません。

(2) 水質検査の状況

- ①行政代執行前に行った不法投棄現場等の水質検査において、生活環境保全上の支障又はそのおそれが認められる結果は確認されていません。
- ②行政代執行後、平成 25～27 年度の水質検査においても、生活環境保全上の支障又はそのおそれが認められる結果は確認されていません。
- ③水質検査項目の詳細は、別紙①をご参照下さい。

3 有識者※による評価

- ・不法投棄現場は廃棄物の分解が継続しており、ガスの発生状況を注視する必要がある。
- ・これまでの水質検査結果から、不法投棄された廃棄物による水質汚染等は認められない。しかし、引き続き重要な項目の監視を継続し、廃棄物の影響を注視すべきである。

※愛鷹山麓産業廃棄物不法投棄モニタリング検討委員

島岡隆行（九州大学大学院教授）、岩堀恵祐（宮城大学教授）、小野雄策（日本工業大学元教授）

4 今後の対応

県は、引き続き、①不法投棄現場内の有害ガスの発生状況等②不法投棄現場内の水質③隣接する大沢川の水質のモニタリングを実施します。

担当 不法投棄対策班
連絡先 054-221-3810

別紙① 水質検査結果

※大沢川の上流は不法投棄現場の影響を受けていない場所で採水を実施しており、下流は不法投棄現場から流入する水を含めて採水しています。

1 人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質（抜粋）

項目	単位	不法投棄現場内		H26 大沢川		H27 大沢川	
		H26	H27	上流	下流	上流	下流
カドミウム	mg/L	0.003未満	0.003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
鉛	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
砒素	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
ほう素	mg/L	0.93	0.45	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
ふつ素	mg/L	0.26	0.16	0.13	0.08	0.08未満	0.08未満
アンモニア、アンモニウム化合物	mg/L	16	6.1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.2未満	0.2未満	0.8	1.2	0.4	0.4

2 水の汚染状態等を示す項目（抜粋）

項目	単位	不法投棄現場内		H26 大沢川		H27 大沢川	
		H26	H27	上流	下流	上流	下流
水素イオン濃度	—	7.0	7.1	7.2	7.4	7.3	7.3
電気伝導率	mS/m	140	71	5.7	15	6.0	7.8
生物化学的酸素要求量	mg/L	23	5.3	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
化学的酸素要求量	mg/L	27	18	1.2	1.5	1.7	2.6
浮遊物質	mg/L	31	29	1.0未満	1.0未満	3.0	8.2
溶存酸素量	mg/L	0.9	1.7	8.9	8.7	8.2	8.4
亜鉛含有量	mg/L	0.017	0.034	0.005	0.006	0.003	0.006
溶解性鉄含有量	mg/L	0.35	0.13	0.02	0.01	0.03	0.03
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.49	0.28	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
クロム含有量	mg/L	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
大腸菌群数	注)	3,000以下	3,000以下	490	790	1,400	1,400
窒素含有量	mg/L	17	12	0.90	3.3	0.52	0.52
磷含有量	mg/L	0.024	0.13	0.005未満	0.006	0.007	0.010

注) 不法投棄現場内：個/cm³、大沢川：MPN/100mL

3 有識者のコメント

(1) 不法投棄現場内の水質について

- ・アンモニウムイオン、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量が減少傾向にあるため、採水場所周辺の廃棄物の安定化が進行しており、問題は認められない。

(2) 隣接する大沢川の水質について

- ・不法投棄現場廃棄物の影響による生活環境保全上の支障は認められない。
- ・廃棄物の影響ではないが、大腸菌群数の数値が高い。

※周辺環境（畑や野生動物）の影響によるものと考えられる。

別紙②（参考）不法投棄現場と検査井戸の位置関係



画像©2016Google、TerraMetrics 地図データ©2016Google、ZENRIN

◎ 平成 27 年度のモニタリングの様子

